

1 北海道水素地域づくりプラットフォームの取組

「平成 30 年度石狩川水系豊平川総合水防演習」において、燃料電池自動車 MIRAI の展示を実施

平成 30 年 6 月 17 日（日）に実施した『石狩川水系豊平川総合水防演習』において、当プラットフォーム会員の伊藤組土建株式会社様にご協力いただき、車両展示コーナーにて燃料電池自動車 MIRAI と災害時の給電機能を説明したパネルの展示、また、災害時を想定した MIRAI から LED バルーン照明への給電デモを行い、災害時における燃料電池車の給電機能を PR いたしました。



MIRAI から LED バルーンに給電中



パネル展示(FCVのしくみ)



給電中の車内ディスプレイ(給電モニター)

2 北海道胆振東部地震における震災対応でのFCV（燃料電池車）活用事例

○札幌市

市役所本庁舎内で実施した携帯電話充電サービスの電源として、本庁舎の非常用発電機と併せて公用車FCVから給電した。

携帯電話充電サービス

日時：9月6日（木） 8:30～21:00
(10:00～21:00)

9月7日（金） 7:45～18:00
(7:45～14:00)



※FCVからの給電は、カッコ内の時間帯で実施

場所：札幌市役所本庁舎

人数：約2,000人（6日：約900人、7日：約1,100人）

※人数には、本庁舎の非常用発電機からの給電分を含む。

○室蘭市

自主避難所に整備した定置型給電器（V2H）を通して、照明、テレビなどのほか携帯電話充電サービスの電源として、公用車FCVから給電した。

日時：9月6日（木） 5:50～9月7日（金） 1:45（FCVからの給電）

場所：サンライフ室蘭（自主避難所）



○鹿追町

町環境保全センター研究棟の電源としてFCVから、また、同センターチョウザメ飼育施設の電源としてFCフォークリフトから給電した。

3 北海道水素地域づくりプラットフォーム会員のFCV・水素ステーション導入状況

(1) FCV

- ・北海道 FCV 1台
- ・札幌市 FCV 2台
- ・室蘭市 FCV 2台
- ・鹿追町 FCV 1台、FCフォークリフト 1台
- ・エア・ウォーター株式会社 FCV1台
- ・伊藤組土建株式会社 FCV1台
- ・一般財団法人北海道道路管理技術センター FCV1台

(2) 水素ステーション

- ・エア・ウォーター移動式水素ステーション札幌
- ・室蘭市移動式水素ステーション「くじらんステーション」

(環境省実証事業)

- ・鹿追町「しかおい水素ファーム」内 定置式水素ステーション

※上記3箇所の運営者はエア・ウォーター株式会社